

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>

**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 移動方立は必ず「自然浴家族ジーマ 本体」と同時に施工してください。移動方立は「自然浴家族ジーマ 本体」完成後に取付けることはできません。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- ジーマ本体の施工は、「自然浴家族ジーマ 本体編 - 取付説明書 (E273)」で施工してください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

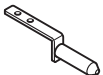
<施工上のご注意>

⚠ 注意

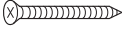
- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆりみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

■梱包明細表

【1】部分入隅引戸部材セット

名 称	略 図	員 数
落し棒取付シャフト		1
妻梁下部材A		1
妻梁下部材B		1
戸当り部材		1
パネル戸当り枠		1
入隅用部材		1
召し合わせビート		1
部分入隅塞ぎ材		1

【1】部分入隅引戸部材セット（つづき）

名 称	略 図	員 数
妻梁下部材取付金具		2
落し棒取付シャフト受け金具		1
交換用アーム調整材		1
パネル小口キャップカバー（右入隅用）		1
パネル小口キャップカバー（左入隅用）		1
【1-1】φ4×13サラドリルネジ		17
【1-2】φ4.1×40サラ木ネジ		5
【1-3】S6フィッシャープラグ		5
【1-4】φ4×13ナベドリルネジ		8
【1-5】φ4.5×63丸木ネジ		10
【1-6】φ4×14ナベタッピンネジ3種		2
取付説明書〈E306〉	—	1

1. 基本寸法

1-1 方立納まり

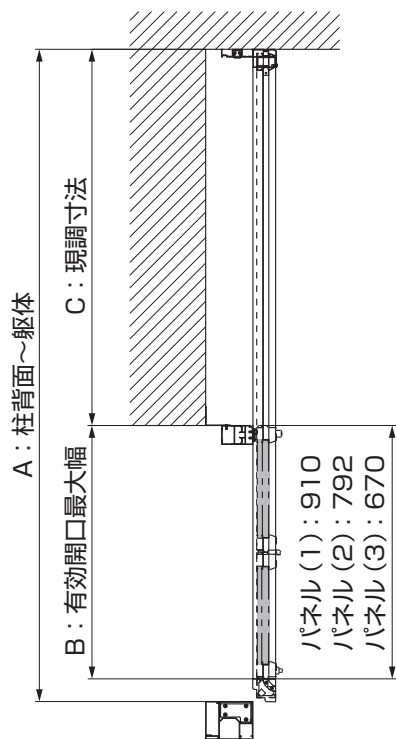


図1-1 パネルを閉めた場合

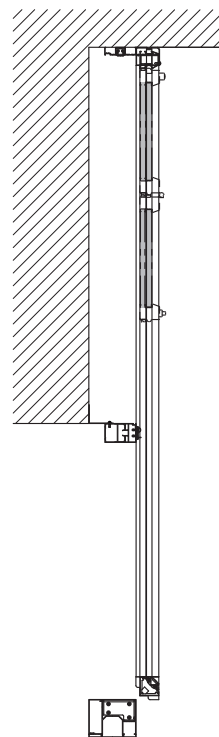


図1-2 パネルを開けた場合

1-2 移動方立納まり

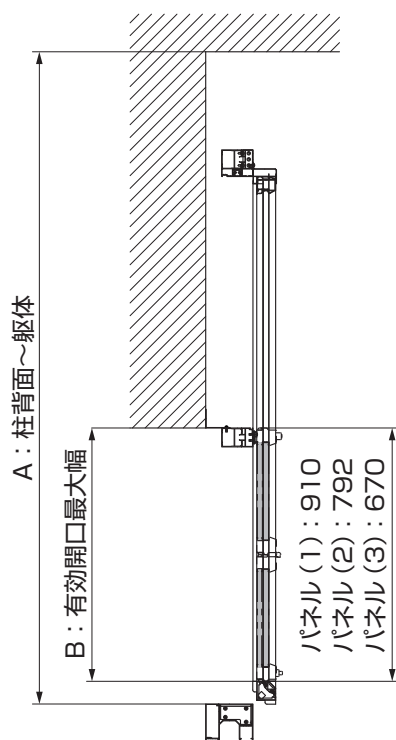


図1-3 パネルを閉めた場合

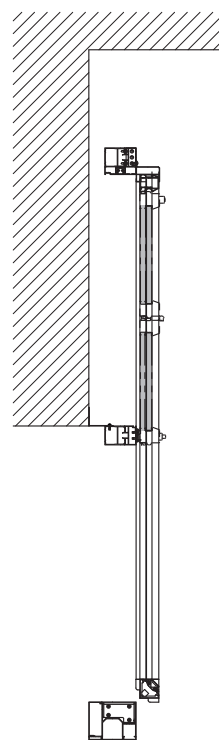


図1-4 パネルを開けた場合

2. 部材の加工

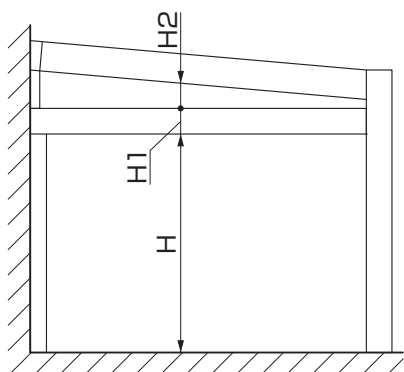


図2-1 方立納まり

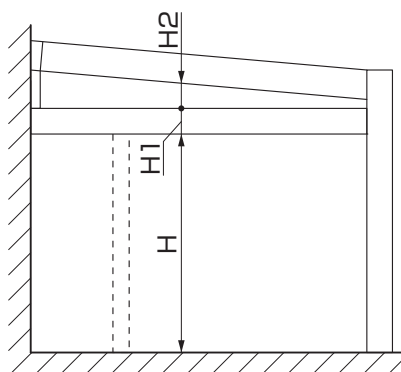


図2-2 移動方立(妻梁下)納まり

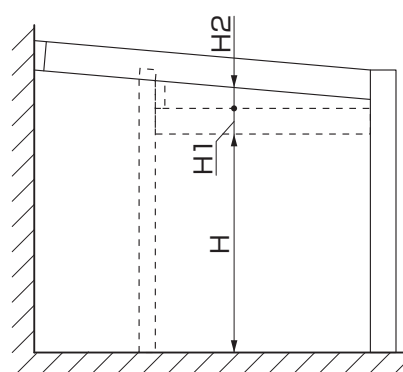
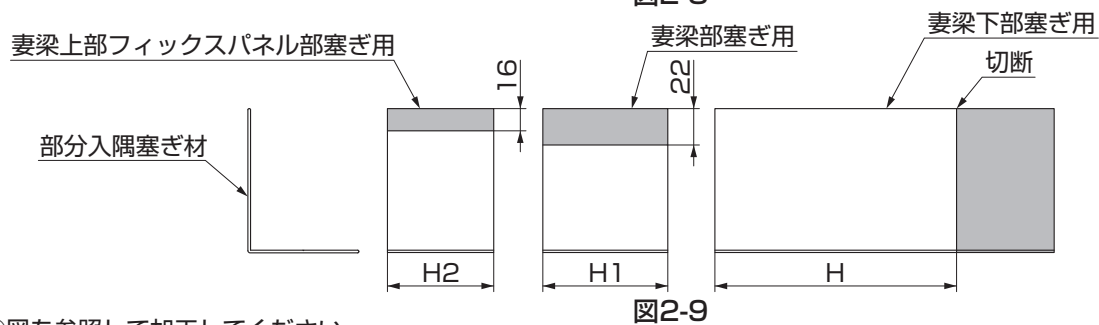
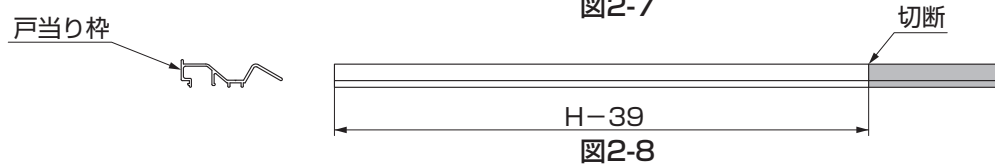
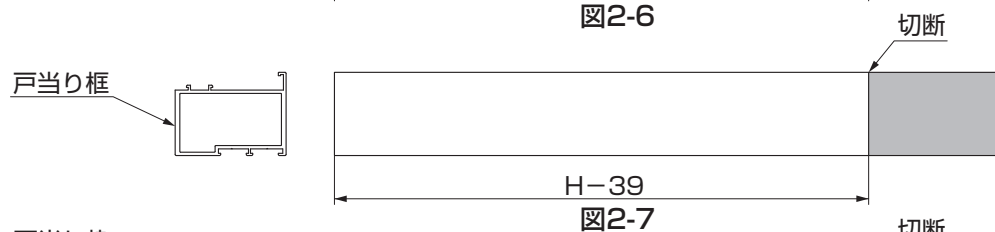
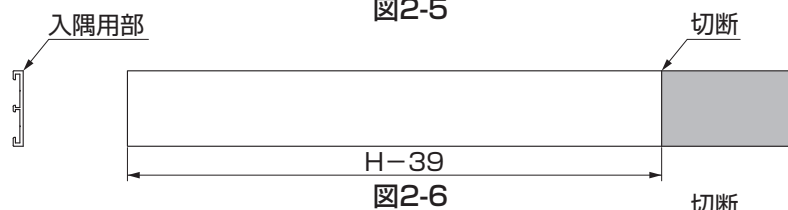
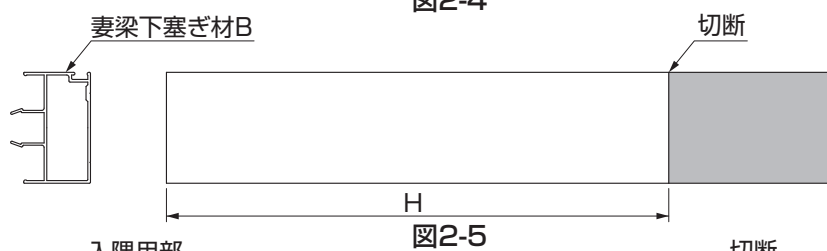
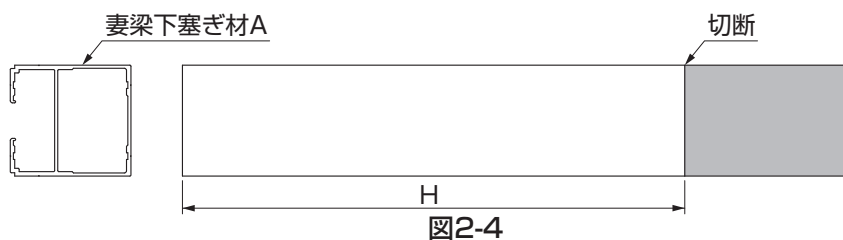


図2-3 移動方立(妻垂木)納まり



①図を参照して加工してください。

3. 本体の施工

3-1 本体の施工

ポイント

- 「自然浴家族ジマー本体編－(E273)」を参照して施工してください。

3-2 移動方立納まりの場合

※方立納まりの場合は、「4. 部分入隅部材の取付け」に進んでください。

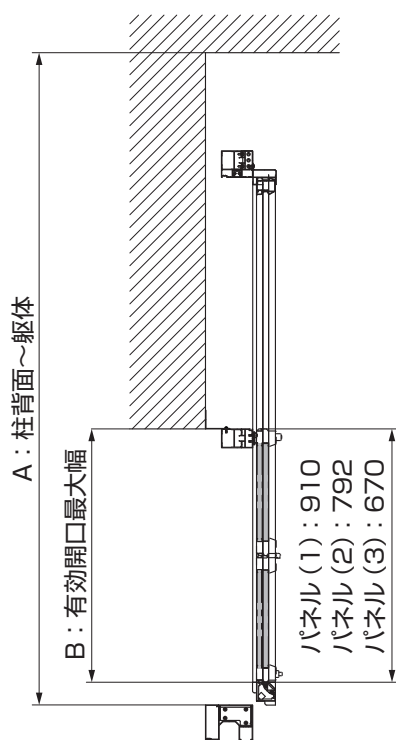


図3-1 パネルを閉めた場合

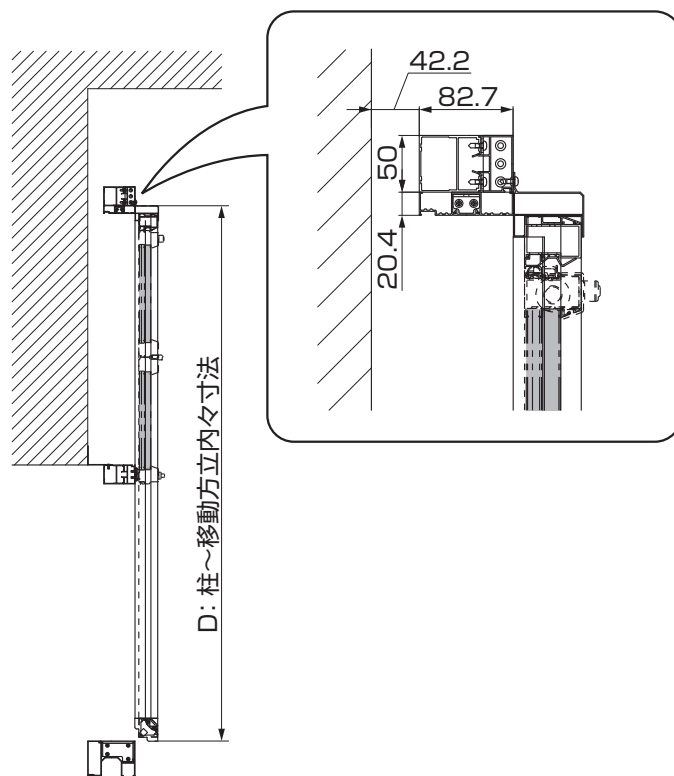


図3-2 パネルを開けた場合

表3-1 移動方立納まり条件表

	柱背面～躯体	パネル組み合わせ	パネルW寸	D
6尺	1725	(2) + (2) 落し棒付	792	1659.5
		(3) + (3) 落し棒付	670	1415.5
8尺	2325	(1) + (1) 落し棒付	910	1895.5
		(2) + (2) 落し棒付	792	1659.5
		(3) + (3) 落し棒付	670	1415.5

- ①「自然浴家族ジマー移動方立－(E263)」と図3-2、表3-1を参照して移動方立を取付けてください。

4. 部分入隅部材の取付け

4-1 戸当り枠の取付け

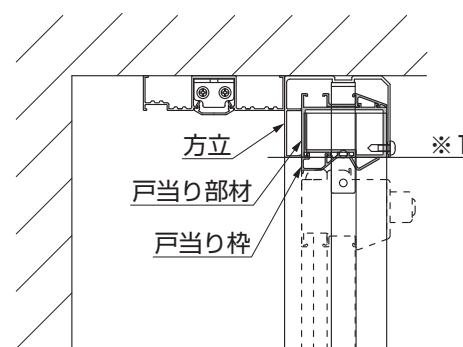
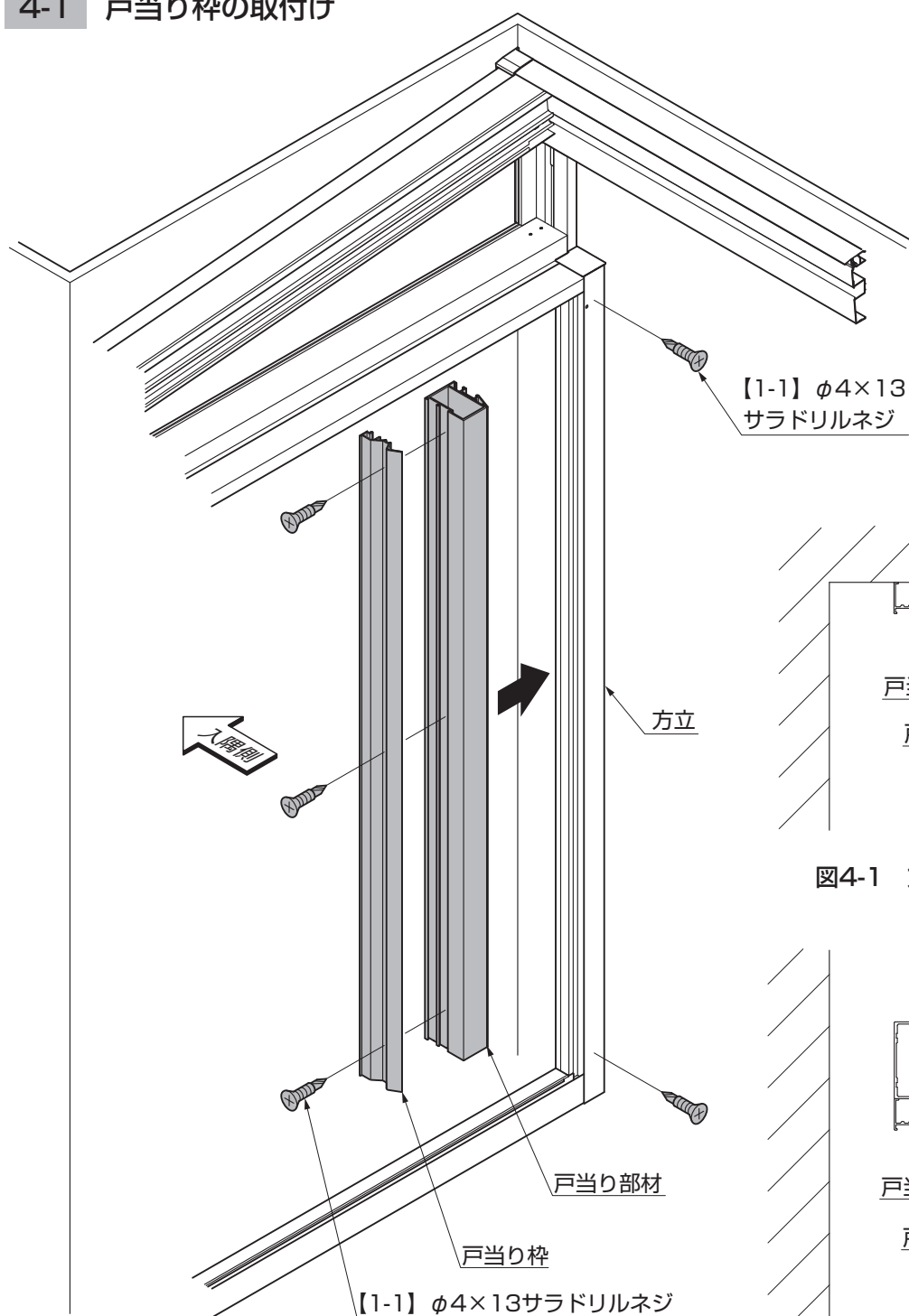


図4-1 方立納まりの場合

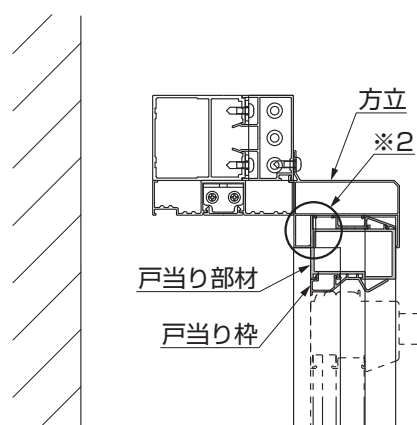


図4-2 移動方立納まりの場合

①方立に戸当り部材を【1-1】で固定してください。

ポイント

- 方立納まりでは、戸当り部材は方立とそろえて取付けてください。(※1)
- 移動方立納まりでは、戸当り部材は移動方立に突き当てて取付けてください。(※2)

②方立に戸当り枠をはめて、【1-1】で固定してください。

4-2 部分入隔壁材の取付け

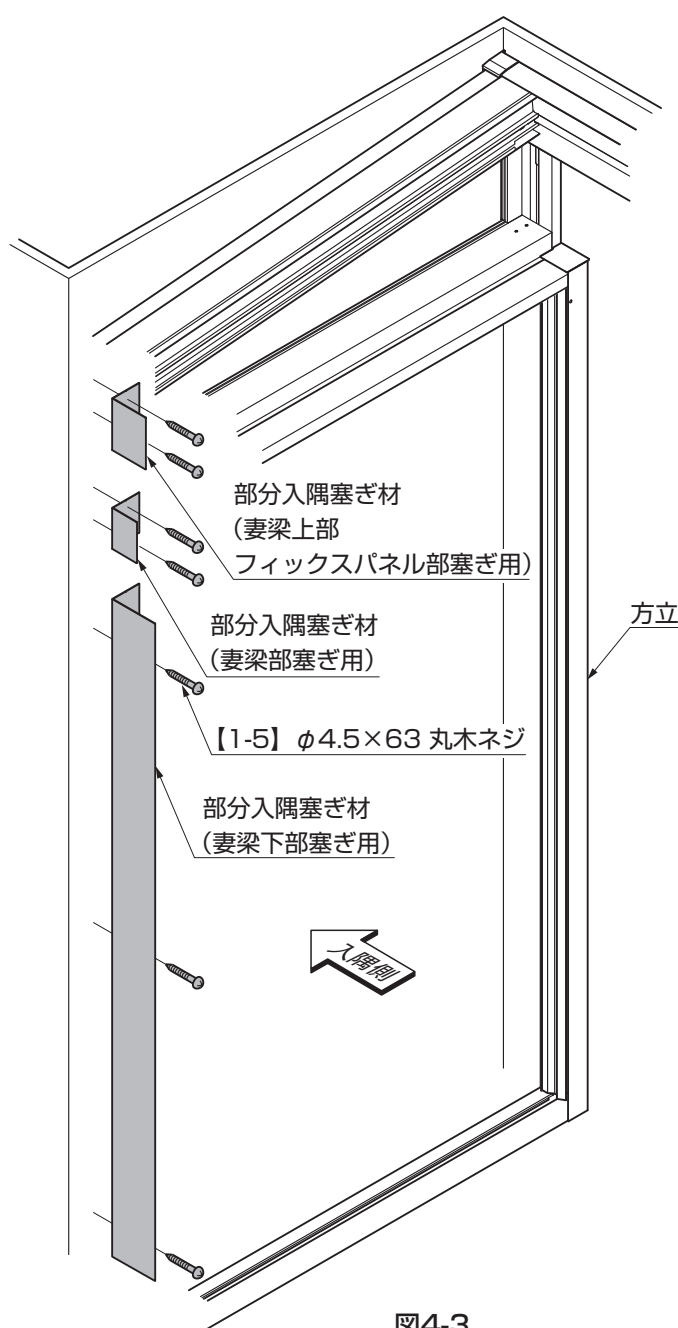


図4-3

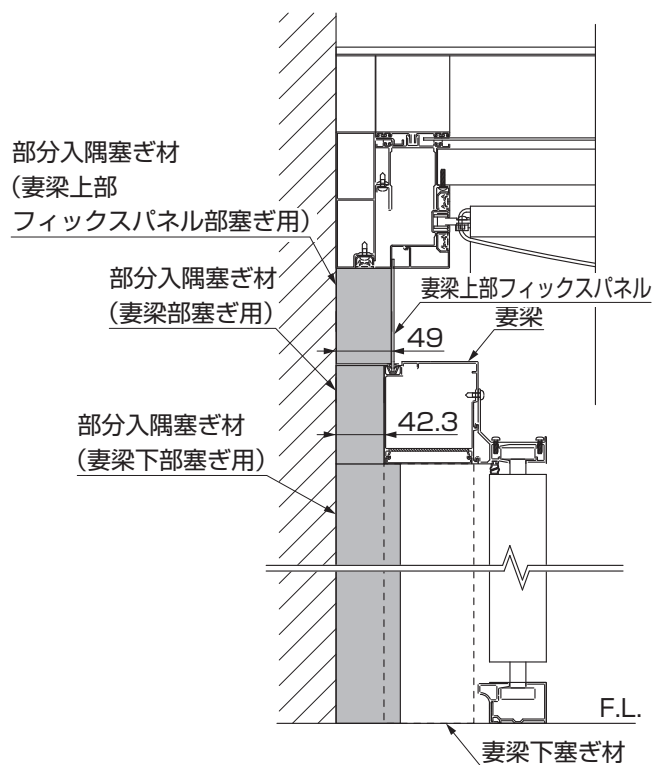


図4-4

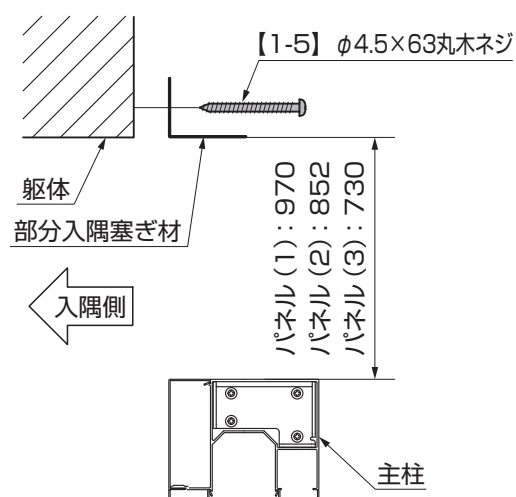


図4-5

①間口からみた本体と躯体とのすき間を、加工した部分入隔壁材で塞いでください。(図4-3、図4-4参照)

ポイント

- H1、H2、Hに加工した部分入隔壁材を妻梁と躯体間、妻垂木側面材と躯体の間、妻梁下部材Aと躯体の間に取付けてください。
- それぞれの部材の面が揃うように取付けてください。

4. (つづき)

4-3 妻梁下部材塞ぎ材の取付け

(1) 妻梁下部材取付金具の取付け

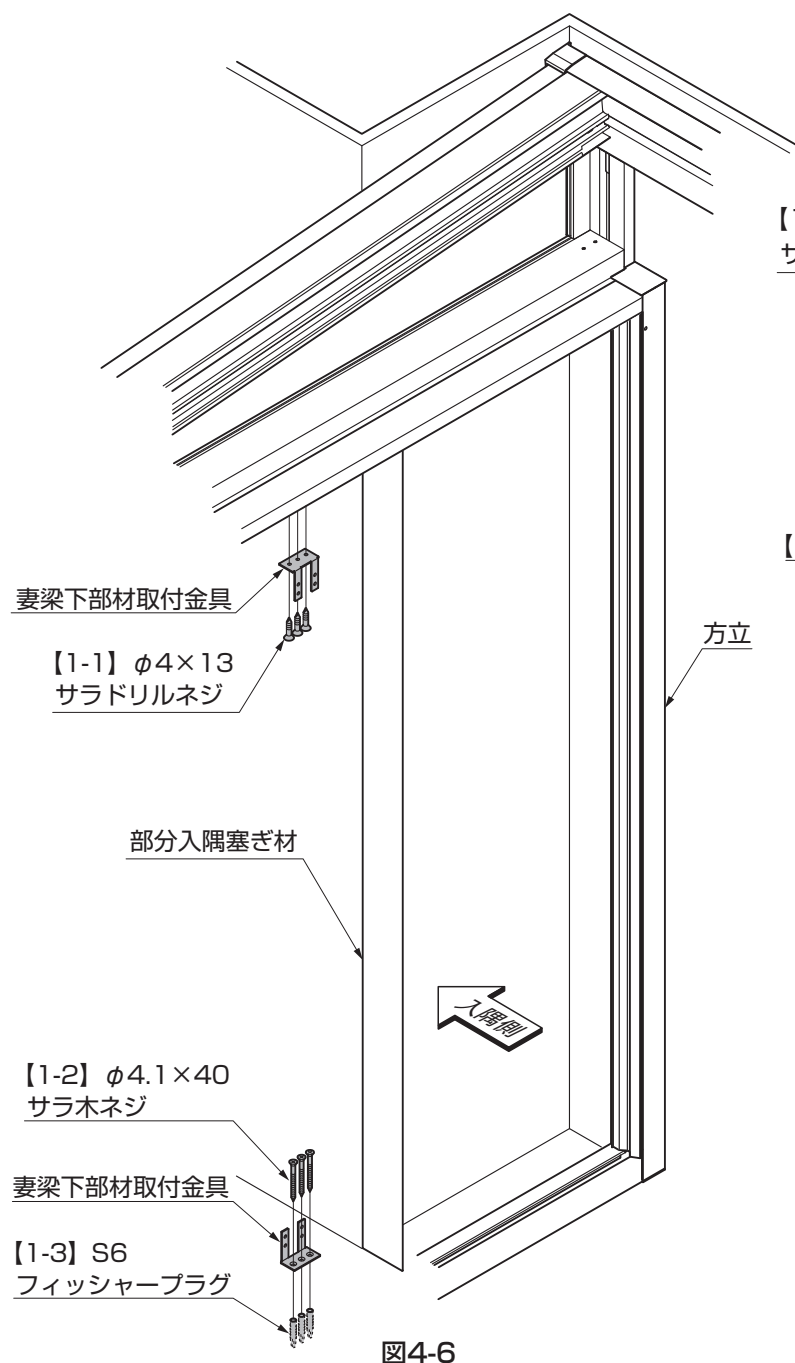


図4-6

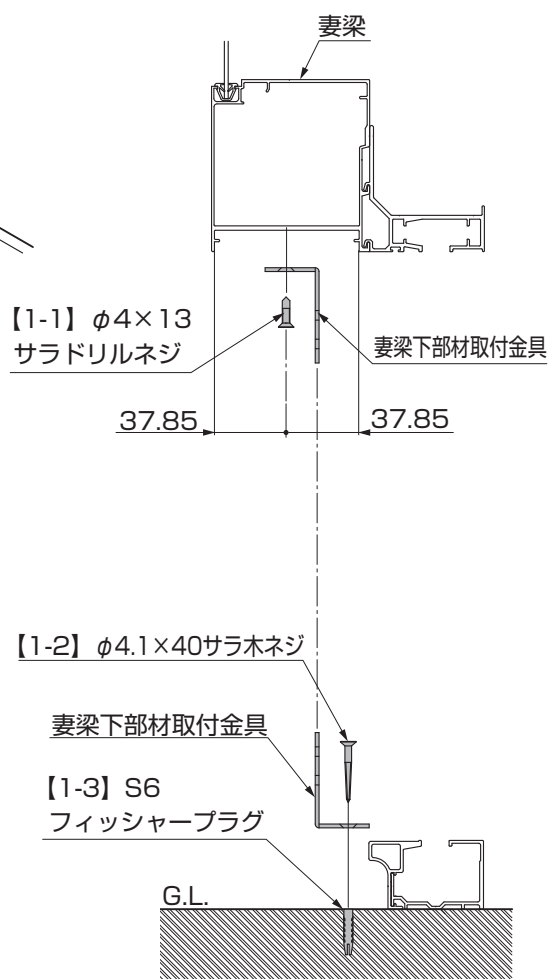


図4-7

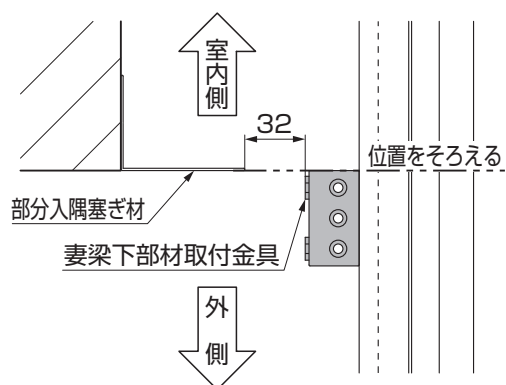


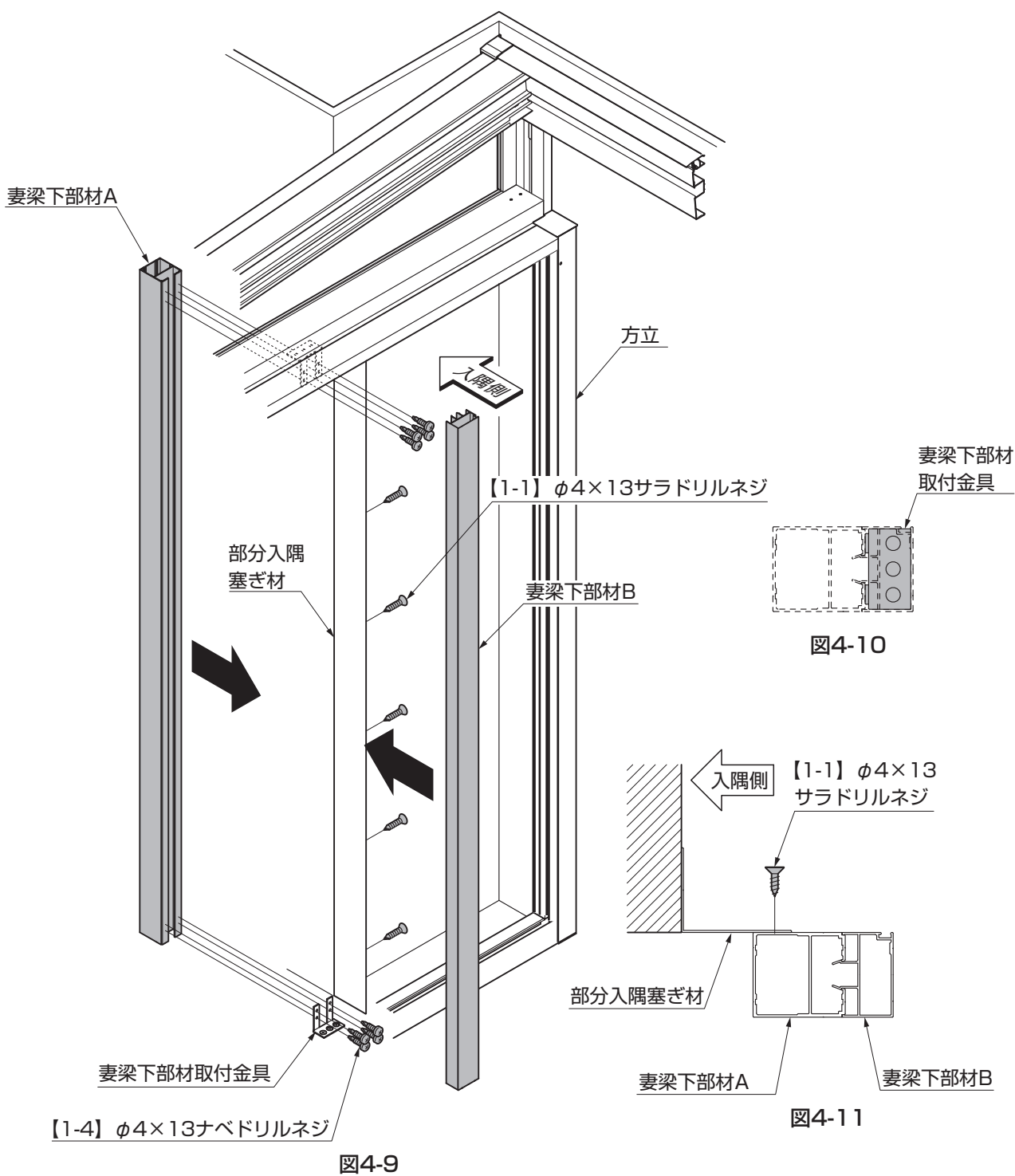
図4-8

①妻梁下部材取付金具を妻梁に【1-1】で取付けてください。土間には【1-2】、デッキには【1-5】で取付けてください。(図4-6参照)

ポイント

- 土間に取付ける場合は【1-3】を使用してください。(図4-6、図4-7参照)
- 妻梁下部材取付金具は上と下で取付ける向きが異なります。(図4-7参照)
- 床への固定位置は図4-8を参照してください。

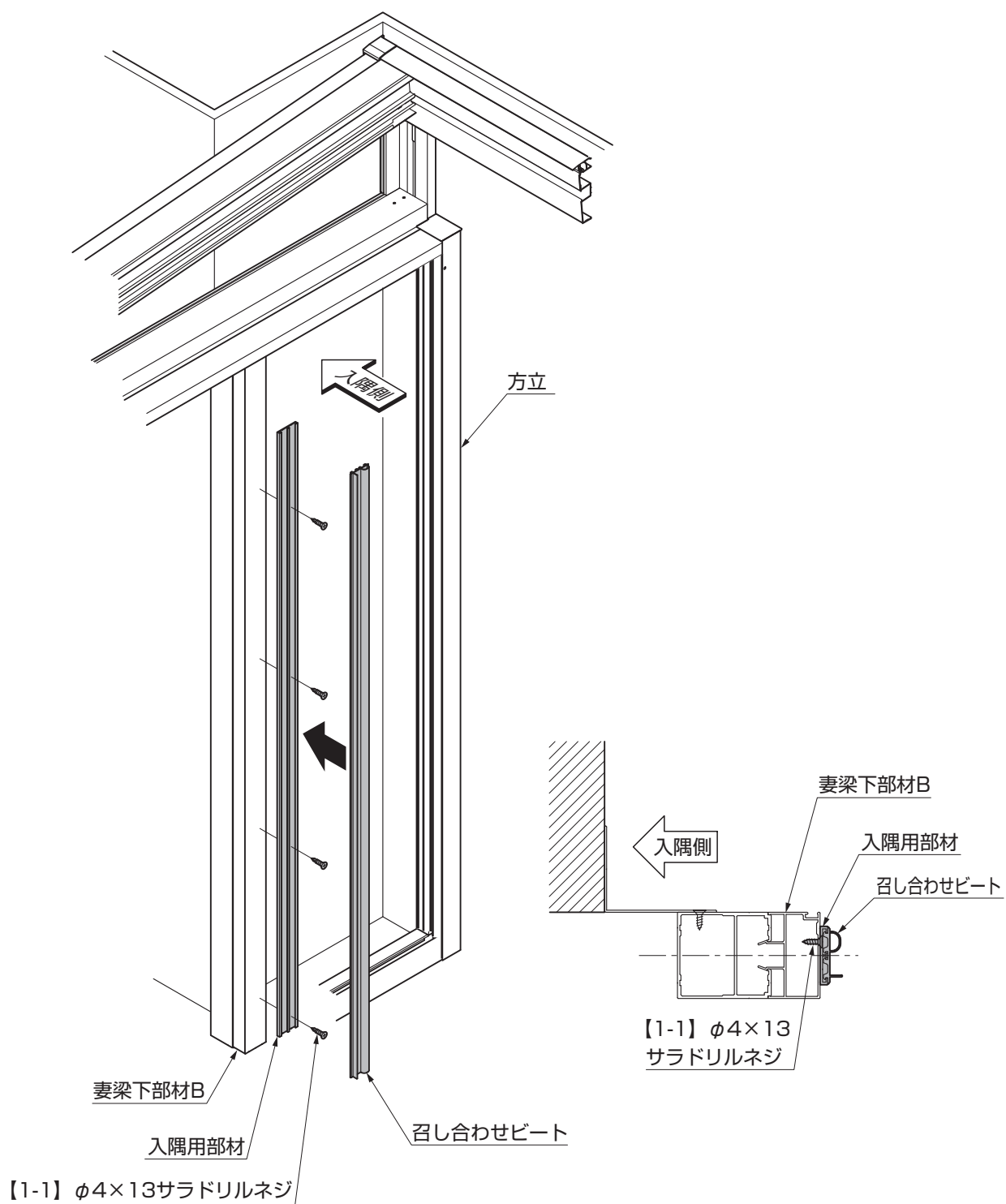
(2) 妻梁下塞ぎ材の取付け



- ①妻梁下部材Aを妻梁下部材取付金具に【1-4】で取付けてください。
- ②妻梁下部材Bを妻梁下部材Aにはめ込んでください。

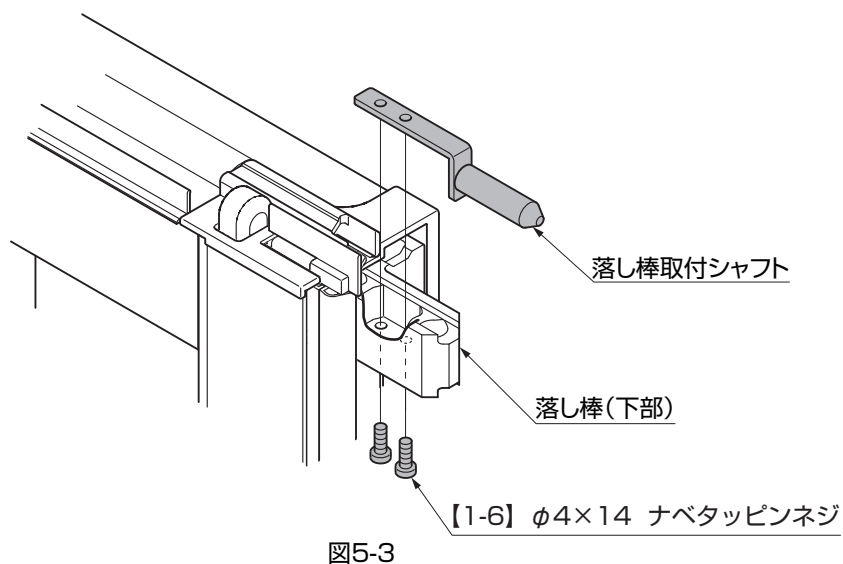
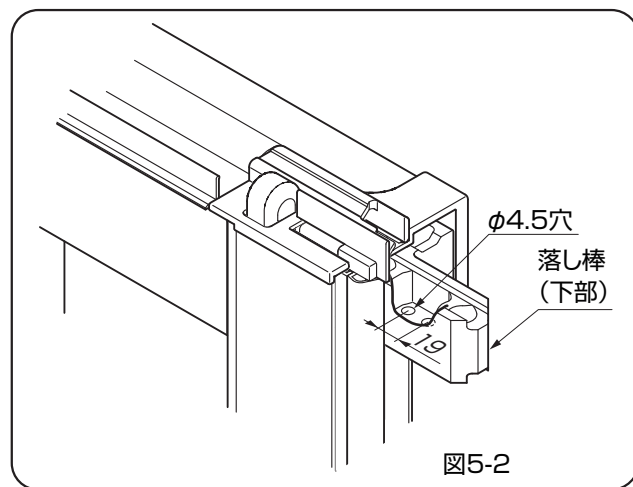
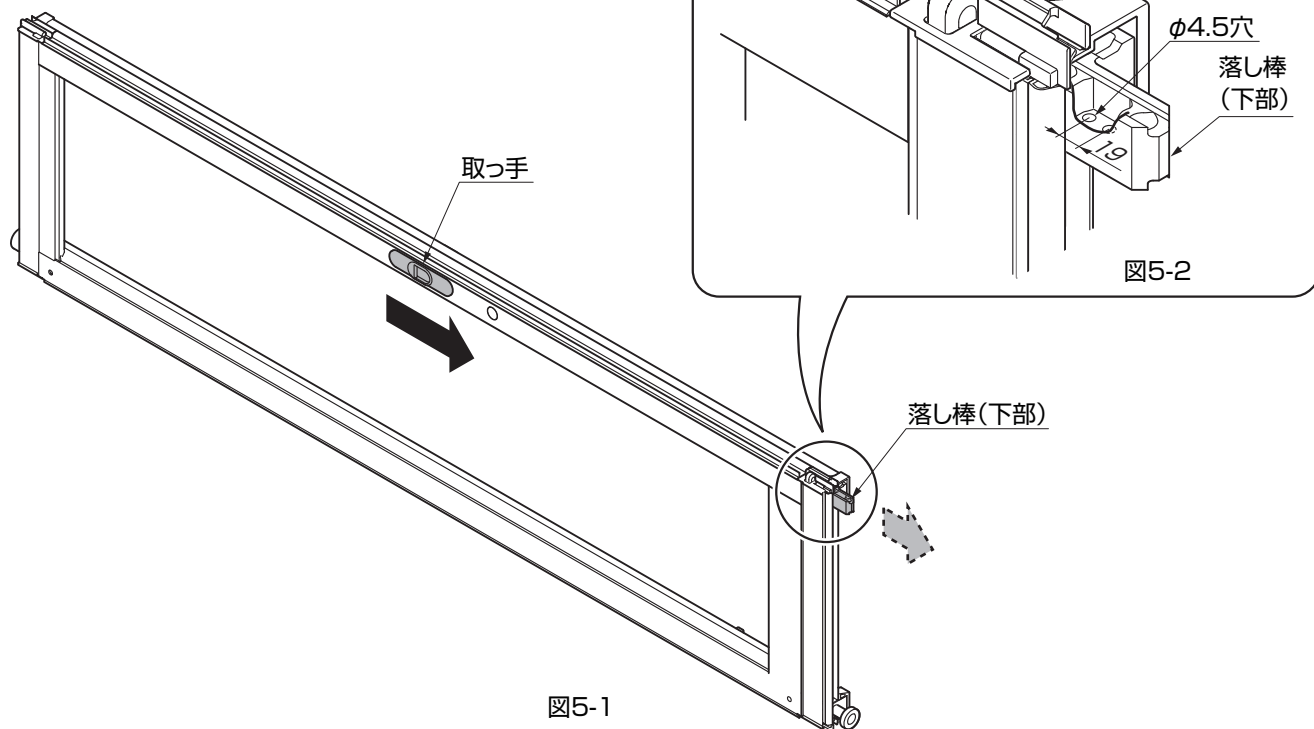
4. (つづき)

(3) 入隅用部材の取付け



- ①入隅用部材を妻梁下部材Bに【1-1】で取付けてください。
- ②召し合わせビートを入隅用部材に取付けてください。

5. 折戸パネルの加工



- ① パネルを横にして立ててください。(図5-1参照)
- ② 取っ手をずらし落し棒を出してください。(図5-1参照)
- ③ 落し棒にφ4.5の穴をあけてください。(図5-2参照)

ポイント

● 穴加工は、落し棒取付部品を落し棒の溝にはめ込み、落し棒下端に密着させ、落し棒取付部品の穴をガイドにしてください。

- ④ 落し棒取付シャフトを【1-6】で取付けてください。(図5-3参照)

6. 下レールの加工

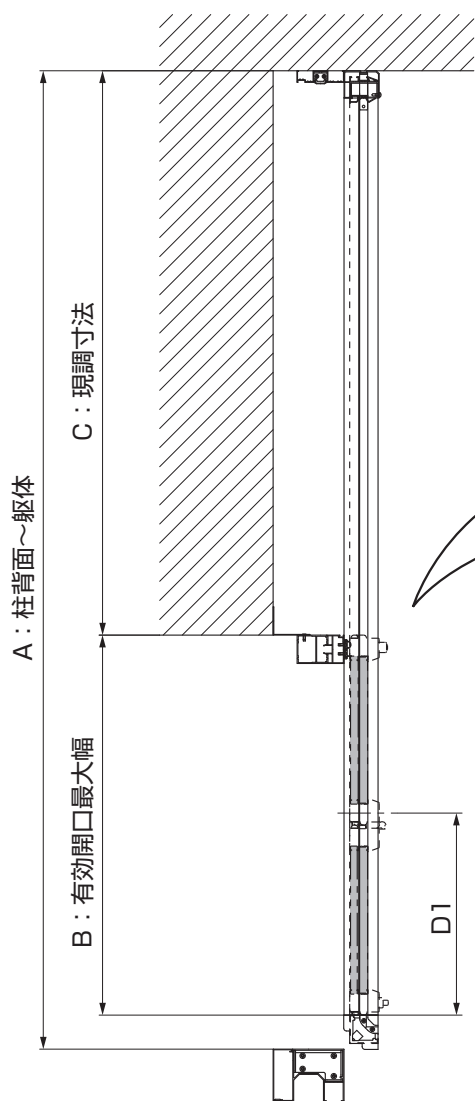


図6-1

表6-1

	D1
パネル (1)	475
パネル (2)	416
パネル (3)	355

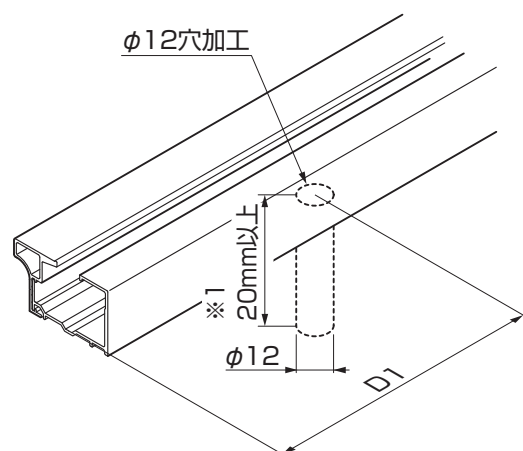


図6-2

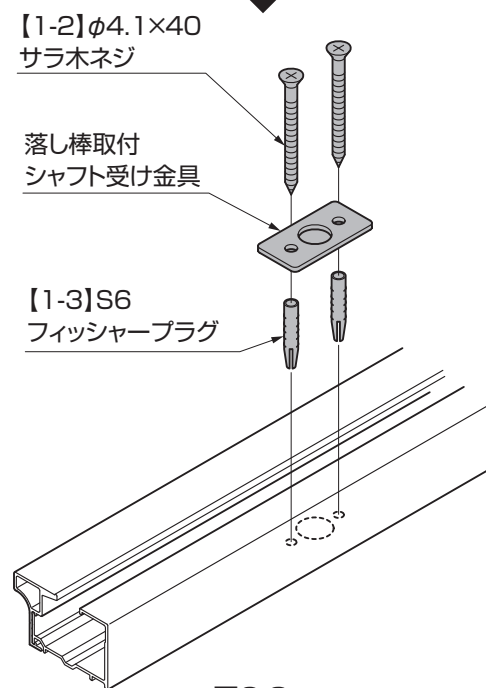


図6-3

①下レールから床面を貫通してφ12の穴をあけてください。(表6-2参照)

ポイント

●床面が土間およびデッキの場合、穴の深さは20mm以上にしてください。(※1)

②落し棒取付シャフト受け金具の穴位置と下レールに加工した穴をそろえるようにして、下レールにφ3.5の穴加工をしてください。

③落し棒取付シャフト受け金具を【1-2】で取付けてください。

ポイント

●土間仕様の場合は、【1-3】を使用して【1-2】を取付けてください。

7. パネルの吊込み

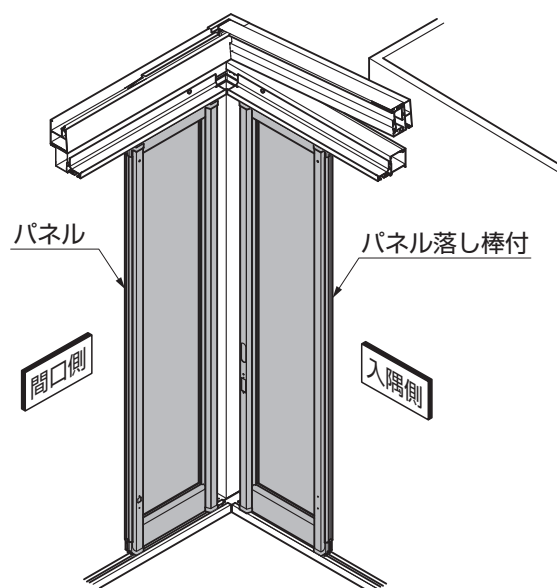


図7-1

①ジーマ本体のコーナ部を挟むようにして間口側、側面側にパネルを吊り込んでください。

ポイント

- パネル落とし棒に取付けた落とし棒取付金具のシャフトを下レールを通るように設置してください。
- パネルの折りたたみができなくなるので、パネルの移動は気をつけてください。

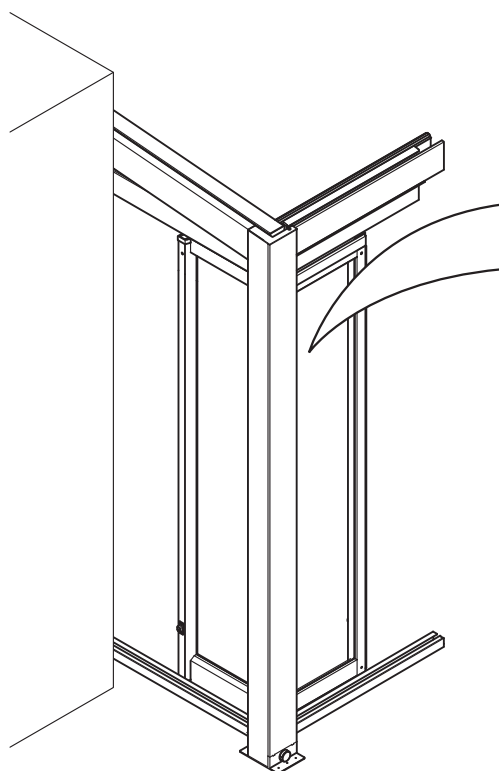
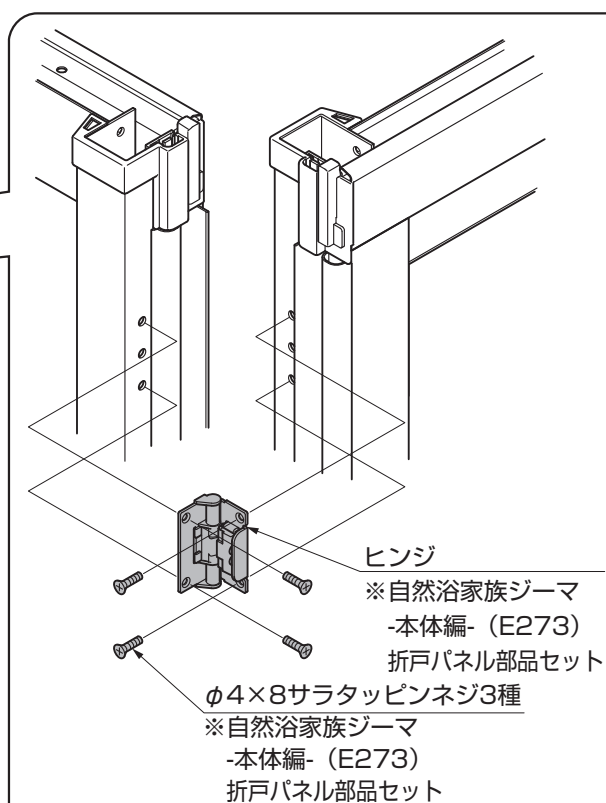


図7-2



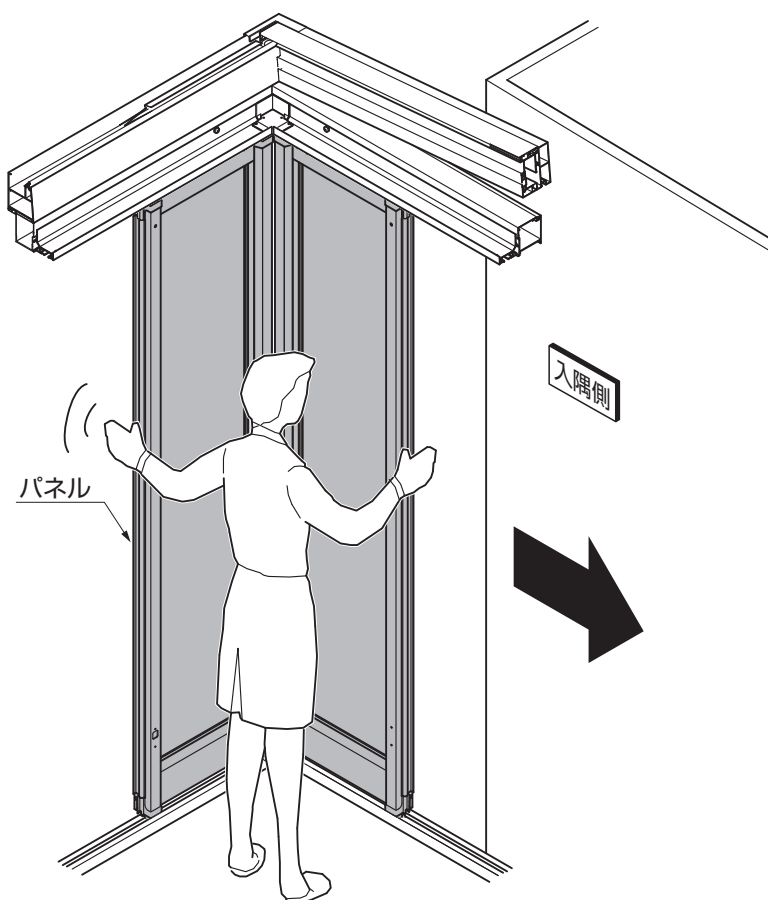
②ヒンジを90° にたたみ、パネルとパネル落とし棒付にφ4×8サラタッピンネジ3種で取付けてください。

8. 上下レールコーナー部品の取付け

ポイント

- 上下レールコーナー部品の取付けは「自然浴家族ジーマ-本体編- (E273) を参照して取付けてください。

9. パネルの移動



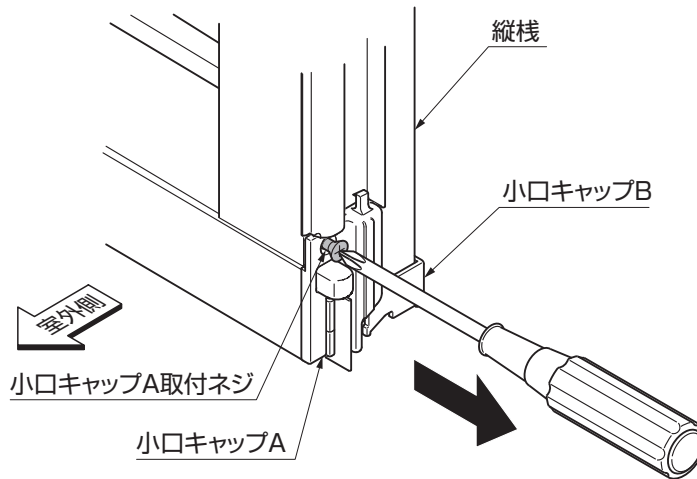
- ①パネルを側面側に移動させてください。

ポイント

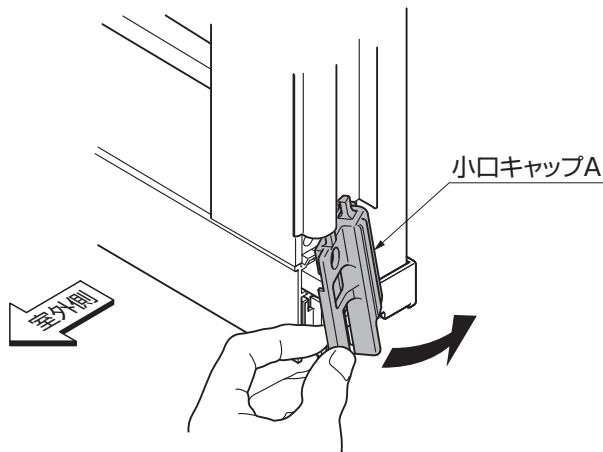
- パネルの移動は、落とし棒に取付けたシャフトが下レールコーナーピースおよび下レールと強く接触しないよう、慎重に行なってください。

※作業は引戸にするパネルの一番躯体側の
ボトム材で行なってください。

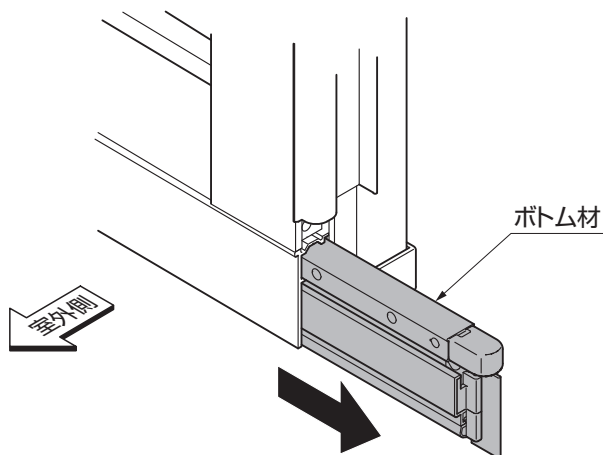
10. パネル小口キャップとボトム材の取外し



①小口キャップA取付ネジを取外してください。

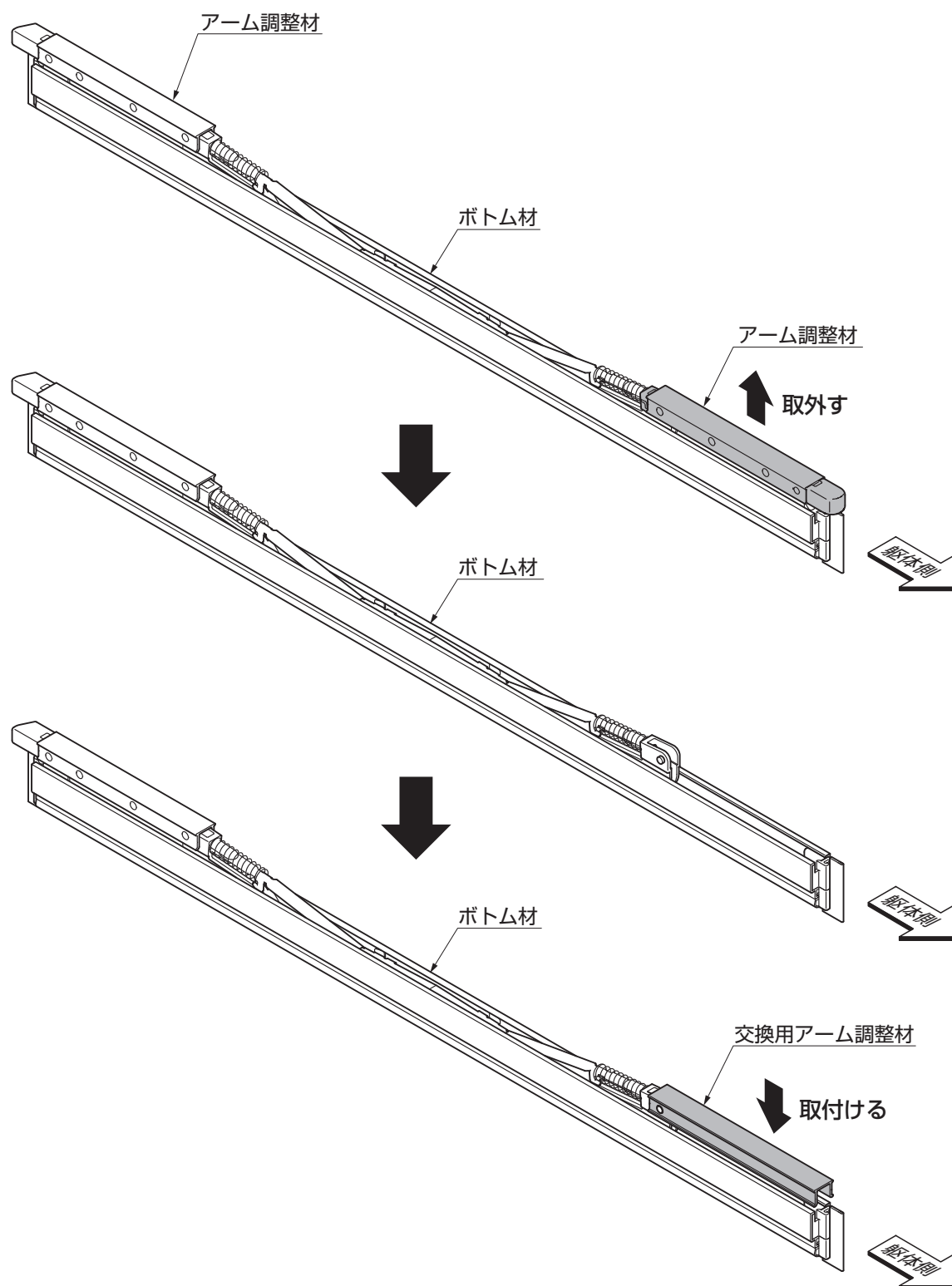


②小口キャップAを取外してください。



③ボトム材を手前にゆっくりと引き出してください。

10. (つづき)



- ④アーム調整材を、ボトム材から取外してください。
- ⑤交換用アーム調整材を、ボトム材に取付けてください。

11. ボトム材の挿入方法

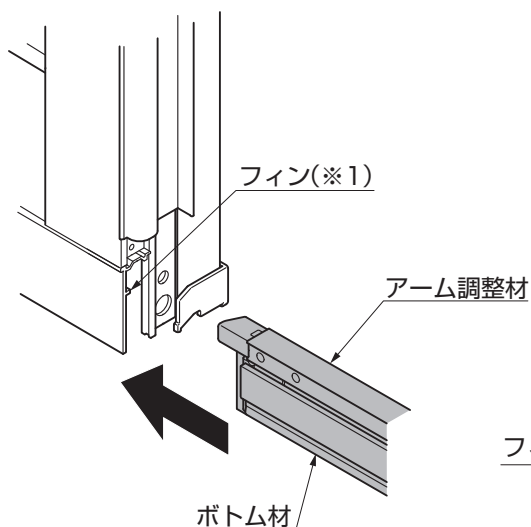


図11-1

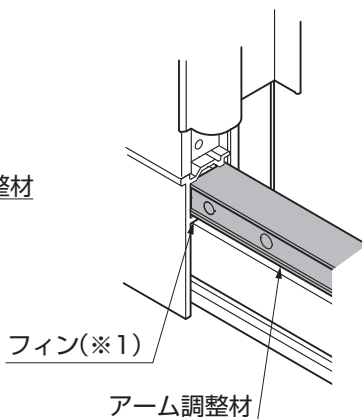


図11-2

①ボトム材を所定の位置に差込んでください。

ポイント

- アーム調整材をフィン(※1)に乗せながら差込んでください。
- ボトム材には左右があります。間違えるとボトム材が正しく作動せず、ボトム材が破損するおそれがあります。

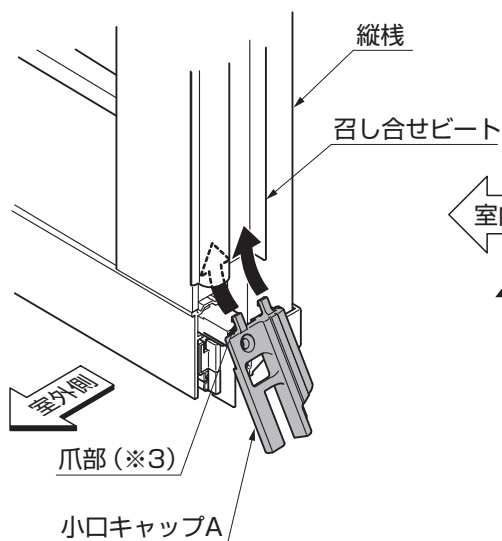


図11-3

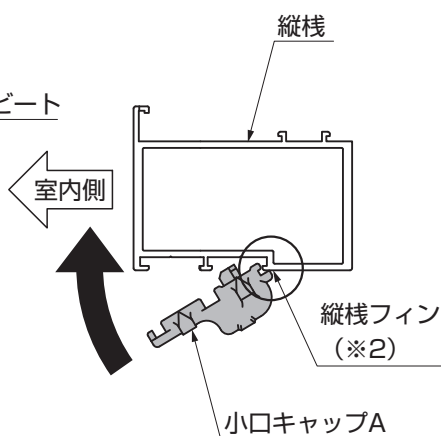


図11-4

②小口キャップAを縦棧フィン(※2)にはめ合わせながら、爪部(※3)を召し合せビートに確実に噛み込むように取付けてください。

ポイント

- 取外した小口キャップA、Bに変形などの不具合がある場合には、新品の小口キャップA、Bに交換してください。
- 小口キャップA、Bには左右があります。取外した小口キャップA、Bと同じ向きのもを取付けてください。

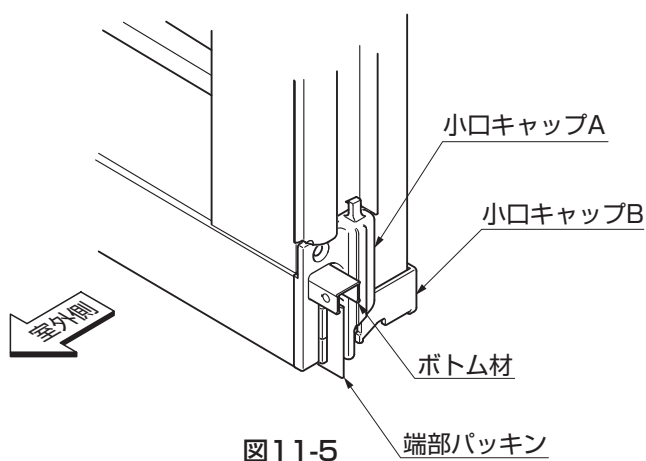


図11-5

補足

- 小口キャップAは、端部パッキンを持ってボトム材を少し下に動かすとはめやすくなります。

11. (つづき)

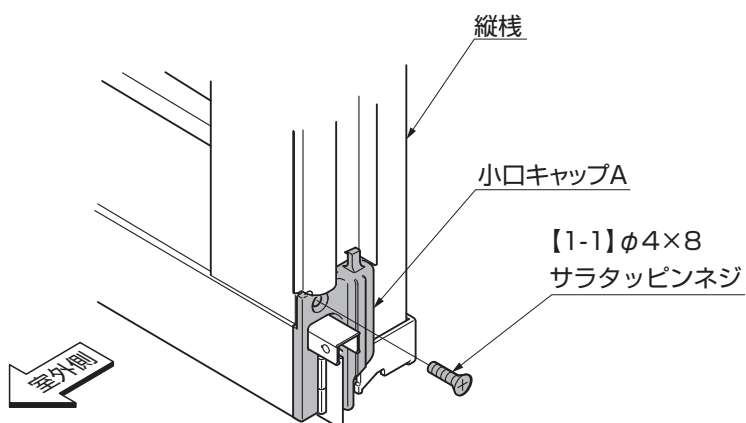


図11-6

③小口キャップAを【1-1】で固定してください。

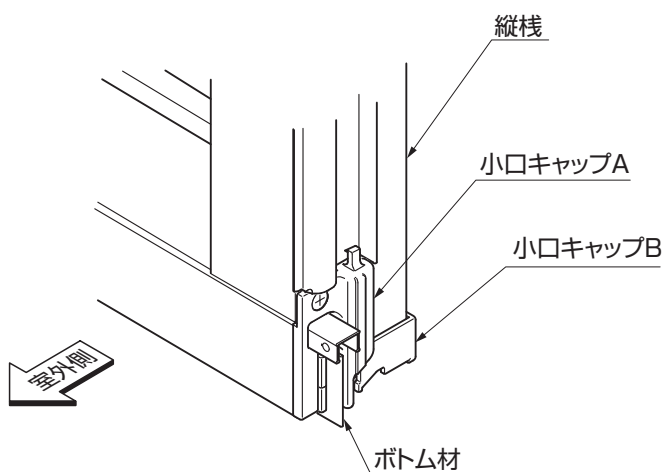


図11-7

④ボトム材両端部のパッキンがよじれたり、小口キャップAにはさまったりしていないか確認してください。

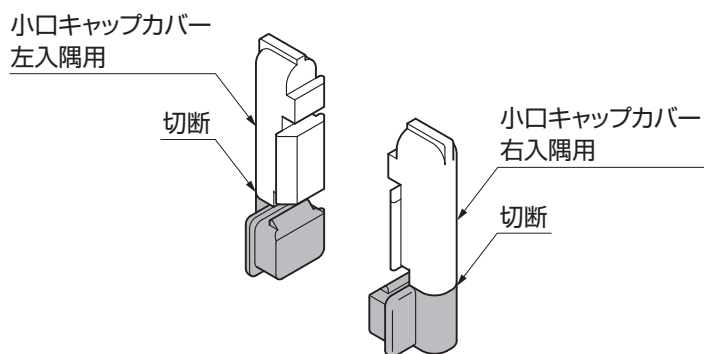


図11-8

⑤小口キャップカバーを切断してください。(図11-8参照)

ポイント

- 小口キャップカバーは左右があります。図11-8を参照してどちらか一方を使用してください。

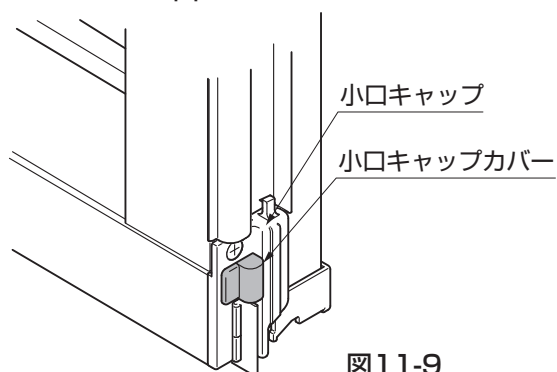


図11-9

⑥小口キャップカバーを小口キャップにはめ込んでください。

⑦「自然浴家族ジーマ-本体編-(E273) 7 開閉パネルの取付け 1. 妻梁の取付け 1-4 妻パネル方立枠の取付け」に戻ってください。

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

